

平成 30 年度 第 1 回 麻績村総合教育会議 議事録

1. 日時 平成 31 年 3 月 26 日(火) 午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分

2. 場所 麻績村地域交流センター第 3・4 研修室

3. 出席者

(構成員)

麻績村長	高野 忠房
教育委員会	
教育長	飯森 力
教育長職務代理者	市川 祥介
委員	塚原 明水
委員	坂野 かほり
委員	小山 正文

(構成員以外の出席者)

事務局職員 2 名

傍聴者 1 名

4. 会議内容

(会議開会 午前 10 時 00 分)

1 開会

○飯森教育長

定刻となりました。これより平成 30 年度第 1 回麻績村総合教育会議を始めさせていただきます。教育大綱の見直しについてよろしくお願いいたします。始めに、村長よりあいさつをいただきたいと思ひます。

2 あいさつ

○高野村長

あらためましておはようございます。年度末の何かとご多用なところお集まりいただきありがとうございます。今日は、麻績村総合教育会議ということで開催した訳ですが、平素、教育委員の皆様には村の教育行政全般にわたりまして多大なお力添え、ご尽力、ご努力いただいていることに深く感謝を申し上げる訳であります。学校統合等が複雑になっている訳ですが、私は残念なことと思っている訳であります。一定の方向がとりあえず出ているという中で、今のこの環境下でより良い教育を進めることが最優先であろうと思っている訳であります。この総合教育会議につきましては、

平成 27 年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正されたことによりまして、首長は会議で協議・調整をして教育大綱を策定するという事になった訳です。麻績村も、この教育大綱の制定をした訳ではありますが、この大綱については、必要に応じて随時見直しが必要になるということでもあります。筑北村との学校統合は先延ばしになった訳ですが、それぞれの村でより良い教育を目指して進むということになっている訳でございます。今日の教育を取り巻く環境は、大きく変化している訳ですが、そういったものを見据え、見直しをしていかなければならないと思っております。麻績村では、「子どもたちは地域の宝」という思いで進めてきている訳ではありますが、全村民がその思いで教育を支えてほしいと思っている訳であります。本日は、大綱の見直しということですが、どうぞ忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。また、本日は平成 31 年度の予算内容もお話させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。開会に先立ちまして、一言あいさつを申し上げます。

○飯森教育長

会議に入る前に一言お願ひを申し上げます。この教育大綱につきましては、平成 32 年 3 月をもって筑北中学校が村立になるということも踏まえ、平成 32 年 4 月からは中学校の教育目標等も含んだ教育大綱にしていかなければならないと思っております。しかしながら、現在は学校組合の教育大綱がございますので、本日ににつきましては、現状の部分での見直しをしていただきたいと考えております。平成 32 年度からの教育大綱については、保育園、小学校、中学校の一貫教育を中心に捉え、地域との連携を通し、地域で学校教育を支える施策、また文化財保護の関係や地域住民の生涯教育、社会教育についても検討し、村長の考え方や方針をお聞きする中で教育大綱へ反映するように考えております。また、平成 32 年度に向けた大綱については秋頃に会議を開き、協議していただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。それでは、さっそく会議に入りますが、ここからの進行は、村長となりますのでお願ひいたします。

○高野村長

それでは、私の方で進めさせていただきます。お手元の資料ではありますが、麻績村教育大綱（案）についてであります。今回、こちらを見直していただきたいと思ひます。教育を取り巻く環境を踏まえ、内容を修正したいという訳ではありますが、事務局より説明をお願いします。

3 麻績村教育大綱の改訂について

○臼井教育次長

それでは、私の方から説明させていただきます(資料に沿って説明)。

○高野村長

説明を申し上げますが、ご意見ご質問等いただきたいと思ひます。麻績村教育大

綱について、ご意見等いただきたいと思います。

○市川職務代理

1 つは、基本理念の中に先ほどの村長さんのあいさつにありました「子どもは地域の宝」という考えを入れていただいた方がいいと思います。10年ぐらい前から村長さんがおっしゃっていることですし、村全体でも大事に思っていることですので、大綱の中にいれていただくのはどうかと思います。

2 つ目は、基本方針が第6次麻績村振興計画との整合性が図られていますし、答申(案)についても重視して位置づけていただいていることに感心しておりますが、細かいところですが、異年齢集団活動を非常に多くやっています。おみっこ元気くらぶや小中一貫ということでは小中学生の関わりも多くやっています。従来では、「人数が少ないためにやむなく」という考えがありましたが、最近は異年齢集団の教育的価値が高く評価されていて、佐久穂町でもそういうことをやっていますし、文部科学省等でも後押しをしています。麻績村では、異年齢集団活動をかなり前からやっておりますので、大綱の中に入れておいていただいた方がいいと思います。

○高野村長

1 点は昔から麻績で言われている「子どもは地域の宝」ということを表に出したらどうかというご意見です。もう1点は、麻績村で行っている異年齢集団活動ですが、今日の教育では必要とされているということですので、大綱に盛り込んだらどうかというご意見でした。その他にご質問等ございますか。

○塚原委員

「学校教育の充実」の中の「それぞれが持つ特性を活かし」という文言ですが、特性は「持つ」ものではないので、「もつ」の方がいいと思います。表記するならば「特性がある」という言葉が普通なので、その辺は修正したらどうかと思います。

2 つ目は、「生涯学習の推進」の中の「○『麻績村交流センター』や『おみ図書館』などの基幹施設を中心に、」というところですが、「麻績学舎」や「テレワークセンター」も入れたらどうかと思います。村としても大事に考えており、活用したい施設だと思いますので、入れてもらってもいいかと思いました。以上、2点です。

○高野村長

1 つ目は、「それぞれが持つ特性」という文言の「持つ」の表記についてということ。

2 つ目は、施設として「麻績学舎」や「テレワークセンター」を加えたらどうかというご意見です。その他にごございますか。

○坂野委員

ICT教育については、具体的に書いてありますが、以前から英語教育についても同じくらい力を入れていくように聞いています。その辺の文言も入れていただいた方がいいと思いますが、どうでしょうか？

○高野村長

小山委員さんは、ご意見ございますか。

○小山委員

坂野委員さんがおっしゃられた英語教育も本格的になっていきますので、どこかに入れておいた方がいいと思います。

○高野村長

ICTという言葉は出てきているが、英語教育については外国語教育という言葉がいいのか、グローバル教育という言葉がいいのかということもありますが、この辺も含めた方がいいのではないかとということですね。

それぞれのご意見をいただきましたが、少しずつ整理したいと思います。昔からの麻績村の考え方である「子どもは村の宝」あるいは「子どもは地域の宝」という言葉を入れた方がいいのではないかとということですが、このことについて事務局としてはどうですか。

○臼井教育次長

「子どもは地域の宝」というのは、昔から言われているキーワードですので、どこかに入れられれば入れていきたいと思います。

○高野村長

「子どもは村の宝」がいいのか、あるいは「子どもは地域の宝」がいいのかということもありますが、私としては「この地域は一つ」という思いがありますので、麻績や筑北ではなく、この地域としての教育ということで「子どもは地域の宝」の方がいいという思いがありますが、教育長はどう思いますか。

○飯森教育長

基本理念の中にどのように入れようか考えていましたが、「子どもは地域の宝」という形がいいと思います。

○高野村長

次に、塚原委員からありました「それぞれが持つ特性」の「持つ」ですが、漢字がいいのか、ひらがながいいのかありますが、特性は「持つ」という表現をしないということもあります。

○飯森教育長

「特性」は、「個性」という表現の方がいいと思いますので、その辺も含め検討させていただきます。

○高野村長

それから、英語教育をどうするかということですが、いかがいたしましょうか。

○市川職務代理

キャリア教育の方では、グローバル化や国際交流という部分がございます。直接、英語教育という表現は出てきませんが。

○飯森教育長

学校教育へも入れていくべきかどうかということですが。

○市川職務代理

学校教育とキャリア教育で分けているので、学校教育に入れると重複することになるかもしれません。

○高野村長

重複することになっても、学校教育に入れるのはどうですか。

○飯森教育長

そうですね。グローバル化や国際的な部分も含めて入れていきたいと思います。

○高野村長

英語教育にするのか、外国語教育にするのか検討してみてください。異年齢集団の活動はどうしますか。

○塚原委員

「学校教育の充実」の中の朱書きの「小規模学校ならではの」の後に「小規模学校ならではの異年齢集団」のような表現はどうかと思いましたが、いかがですか。

○高野村長

「学校教育の充実」の中の文言に入れていくということですが、このことも事務局で検討していただきたいと思います。言葉としては「異年齢集団活動を支援する」ということでよろしいですか。

○市川職務代理

結構です。意味合いとして、「やむなく」ということではなく、「プラスの面を開発して、良さを認める」という意味でやっていただきたいです。

○高野村長

現在の 1、2 年生が少ないので、特に学校の中でもやっていただいていることだと思います。

○市川職務代理

若者定住施策で若者が増えています。そうであっても異年齢集団での教育効果

は高く評価されていますので、これからも重要視されていくと思います。

○飯森教育長

「異年齢交流」とするのか、それとも「異年齢集団活動」とする方がいいのでしょうか。

○市川職務代理

「異年齢集団活動」がいいと思います。従来では「異年齢集団教育」ということで使われていました。

○高野村長

そのことも合わせて検討させていただきます。それでは、次に移らせていただきますが、基幹施設として麻績学舎やテレワークセンターについて加えてみたらどうかというご提案でしたが、教育長としてはどうお考えですか。

○飯森教育長

入れていきたいと思います。「テレワークセンター」については、「第二公民館」という表記もできますが、どういたしましょうか。

○小山委員

生涯教育について考えるのであれば、「テレワークセンター」ではない方がいいと思います。

○高野村長

それでは、第二公民館ということでお願いしたいと思います。

○小山委員

1点質問をお願いします。「学校教育の充実」の中の「○学校間の交流事業は、近隣との事業を維持しつつ」とありますが、「近隣との事業」は具体的に何を指しているのでしょうか。

○臼井教育次長

芸術や音楽で学校間交流をしている部分を主には考えています。今までも、そしてこれからも継続していくことではあります。

○高野村長

聖南や生坂との交流ですが、さらにこれから新たな学校や地域、できれば海外にも広げてできればと思います。それでは、そのようなことを盛り込ませていただいて、送付させていただき、ご意見があればお寄せいただくということをお願いできればと思います。

○市川職務代理

1 点お願いしたいことですが、村長さんが使われている「森の学園構想」という言葉ですが、そのままでもいいですし、「自然体験」ということで良いかと思いますが、おみっこ元気くらぶでもやっただけのことですし、これからの学校教育の中でも「体験」を重視していかないと、新たな学習指導要領には対応できていかないと、思います。「体験的な学習」という言葉が出てきていけませんので、位置づけていただければ入らせていただければと思います。

○高野村長

「学校教育の充実」の中に「村外や環境の違う地域との体験交流学習の実施に努めます。」とありますが、こちらに位置づきますか。

○市川職務代理

「体験交流学習」では、少し絞られてしまいます。

○飯森教育長

できれば「青少年健全育成・キャリア教育の推進」の方で学校から離れた部分での地域と一緒に体験も大事ですので、体験学習が位置づくようにしたいです。おみっこ元気くらぶとしても、こちらの部分だと思いますので、こちらに取り入れたいと思います。

○市川職務代理

こちらに入れておいていただいて、学校教育でも繋がりとしてやっているということをお願いします。

○高野村長

それでは、次に教育委員会の主要事業等についてはすでにご承知のことと思いますので、予算についてのご質問等ありましたらお願いしたいと思います。

平成 31 年度については、教育費がかなり膨らんでいる訳ですが、教育環境の整備について考えていただいております。保育園、小学校、中学校について空調の設置を行います。全てシーズンに間に合うということで、平成 30 年度から前倒しで進めております。平成 31 年度からでは、全国一斉にやるので夏までに間に合わないということです。

○市川職務代理

保育園で夏の暑さを経験しました身としましては、非常に素早い対応でありがたく思います。

○高野村長

保育園は、5月の連休で完了する予定でしたか。

○臼井教育次長

そのぐらいの予定です。

○高野村長

小学校はどうですか。

○臼井教育次長

今年度末で完了します。

○高野村長

中学校はどうですか。

○臼井教育次長

3月21日に完了しています。

○高野村長

その他の予算の執行等についてご意見ございますか。事業としては、公民館の耐震の話が出ましたが、地区の主要公民館については大規模災害が発生した時の第1次避難所となるべくということで、大きな地震がきても倒壊しない建物にしておかないといけないということです。村の考え方としては、「地域の公民館は、地域の皆さんにご負担いただいている」ところでしたが、耐震に関しては行政の方で負担するということです。「この際、それぞれの地域でしたいことがある」となった時には地域に負担していただきますが、補助の対象になるものは補助をするという考え方になります。

もう1つ、グラウンドの内野に砂を入れる事業がありますが、説明をお願いします。

○飯森教育長

高校生の部活動等の関係で、松本市内でも運動場が不足しているということでお問い合わせがありました。この地域でも、サッカーについては筑北村を利用されている方がおりますが、麻績でも八十二のグラウンドを利用している学校がありますが、「ナイター用の設備がないので、ぜひ麻績総合運動場も利用したい」という話がありました。ですが、今のグラウンドは、総合運動場ですので、スライディング等をした時には石等があり危険ということで、その方たちにも使っていただけるように内野の土の入替をして、練習していただいて、長野県の名を全国につなげていただきたいということで、内野の土の入替を予定しております。今来ていただいているのは、松本国際高校です。その他にも、子どもたちがサッカーで使用している部分はありますが、まずは野球の部分からやっていきたいと考えております。

○高野村長

うまくいきますと、長野県内にある女子野球の専属になるという話もございますので、ご承知いただきたいと思います。

○塚原委員

関連して、トイレですが、水洗化や洋式化を考えてほしいと思います。公民館としての立場でも、この地域を利用する方が増えてきています。グラウンドのトイレは、和式タイプですので、洋式化するだけでもいいと思います。若い子どもたちでは、和式だと用を足せない子もいるかもしれないので、体育館も含めて考えていただければありがたいです。

○飯森教育長

体育館は洋式化されています。グラウンドも管理棟内のトイレを利用してもらえればと思いますが、グラウンド内にあるトイレは土足用になるので難しい面もあります。

○高野村長

場合によっては、撤去することも考えた方がいいかもしれません。女性の方が利用するとなれば着替え等の必要があるので、それが固定化するならば管理棟の整備も考えていく必要があると思います。

バスケットボールでも、体育館を使用させていただいて、2機新たにバスケットゴールを入れてもらった部分は良いのですが、備え付けのゴールは板を替えないと公式で使用できないということで、それをどうするのか検討をしております。筑北村さんでは、サッカーやバトミントン等色々やっていますが、麻績村でもやっていくことで「この地域に来ればスポーツができる」ということで、教育面でも連携ができると思います。

○市川職務代理

いいお話だと思います。小学生や中学生が見学や指導を受けるという繋がりができると良いと思います。

○高野村長

予算については、よろしいでしょうか。

○市川職務代理

先ほど、公民館の耐震の話がございましたが、区の中で「耐震の保険に入った方がいいのではないか」という話が出ましたが、行政としても予算や補助だけではなく、「耐震等の保険に入って、自分の地域の公民館は自分たちで守る」という方針を出してもらえると良いと思いました。

○高野村長

保険については、地域の判断になります。

○飯森教育長

入っていただいていた方がいいとは思いますが。

○高野村長

それでは、次の部会の進捗についてであります。平成 31 年度についてもそれぞれの部会の方針に沿って研究を進めていただくことになるかと思えます。「部会は、いつまでやり、いつになったら結果を出すのか」という意見がありますが、「研究をしていて、できるところから始めている」という話をするのですが、なかなか伝わっていないというのが現状です。

○塚原委員

私もそう思います。教育長さんがすぐにやってくれています。私たちでも検討していますが、住民の方にはなかなか伝わっていないのを感じます。ひだまり広場等では、さっそく対応していただいたことに対して、関わりのある若い保護者の方々は「ありがたい」と思ってくれていますが、他の方には伝わっていないということを感じます。

○高野村長

広報等で伝えていきたいと思えます。

○臼井教育次長

なかなか広報周知がいたらないのは事務局の責任だと感じています。以前ありました PTA との懇親会でも「なかなかわかりづらい」という意見をいただいていますので、館報に載せる部分も具体的でわかりやすい周知ができるように心掛けて行っています。

○高野村長

「～が始まりました」や「部会では～という結果になりました」という表現にすると良いと思えます。

○市川職務代理

部会の委員が、当事者意識を持った進め方をしてもらえれば具体的な発言や意見が出ると思えますので、広報する意味でもそういった進め方をしてもらえればという感想をもちました。

○高野村長

それでは、麻績村教育大綱についての論議をしていただきましたが、必要に応じて改正していくものでありますので、もし新たにご意見等がありましたら次の会議で話し合いしていただきたいと思えます。次に意見交換に進ませていただきます。

4 意見交換

○高野村長

意見交換ということでお願いしたいと思えます。総合教育会議の席で意見することがあればお願いしたいと思えます。

○塚原委員

「授産施設」や「やまぼうし」の施設の改修があるのであれば、そこに「ひだまり広場」が運営できるようなものにしてもらえればいいなと思っております。すぐにという話ではないですが、麻績村の中には子育て支援センターとして使える施設が無いので、そういう施設があるといいなという私の願いであります。

○高野村長

授産施設は、認定された方が働くということになっていますが、建物が老朽化しておりまして整備しなければならないということです。これを村として必要な施設ですので、なくてはならないです。「やまぼうし」については、「運営が大変だ」ということで「村がやりましょう」ということになってきた訳ですが、当面は授産施設の分譲ということでやっている訳ではありますが、今後どうするのか、また「やまぼうし」を利用されている方が、この地で生きていける仕組みを考えていかなければいけません。生活できる場所も含めて考えていきたいのですが、利用される方の考えがまとまってきていない部分もございます。ですが、施設は急がないといけませんので、住民課で詰めているところです。塚原委員さんの話のようなものができればいいですが、土地を含めてどうするかが問題であります。筑北村さんでは「ちくほっくる」や「グループホーム」があり、働く場所や住む場所がありますが、麻績ではどのようにやっていくべきかをこれから検討するということになります。

その他に、ご意見ございますか。

○坂野委員

麻績学舎の隣にある公園ですが、整備していただくとともに皆さんが集える場になると思っております。子どもたちの利用もありますので、あの環境を整えてあげたいと思います。

○臼井教育次長

具体的な例を申し上げますと、砂場ですが、「動物をいれてはならない」ということがあり、管理が非常に難しいです。ですので、砂場の整備等は厳しいと思います。

○坂野委員

若者定住促進住宅の方は、庭はあるのでしょうか。折角、麻績に来ていただいたので、小さい頃からの土いじりは良いと思ひまして、花壇等も提供して「花を自由に植えていい」ということや、バスケットボールも最近人気が出てきていますが、体育館に行かないとできないので、公園にバスケットゴール等があれば良いと思います。

○高野村長

公園ですが、非常に難しいです。ブランコを設置するというだけでも今は大変です。砂場もあのような条件だと 24 時間管理できる体制でないといけません。住宅に入居される方の中にも「碎石ではなく、草が出ないように舗装してほしい」という意見や「畑は無い方がいい」という意見もあります。また、天王の時には「地元での管理が

大変だから何もなくていいので、草が出ないように碎石を敷いてほしい」という話もありました。本町にも公園を設置できるような場所の確保はできていますが、「人が来るときの駐車スペースにしてもらいたい」という意見もありまして、こちらとしては、「子どもたちが遊べる場所を」という思いがありますが、いろんな意見がありますので、振興課でまとめているところであります。花壇についても「花壇ではなく、ホームセンターにあるポッドでいい」という話もあります。

○飯森教育長

「何かあってもいいが、自分たちが手を掛ける必要があるものは困る」という考えがあるようです。いろんな意見がありますので、なかなか難しいです。

○高野村長

他にご意見ございますか。

○塚原委員

麻績学舎の周りにある大きな木ですが、建物に近すぎると思いますが、切ることはできないのですか。将来的に伐採するにも予算が掛かりそうだと思います。

○飯森教育長

記念樹となれば切るに切れないと思います。

○市川職務代理

話が戻りますが、参加型の村政を振興計画で強調されていますが、保護者の皆さんが積極的に参画できる方策をお願いしたいと思います。以前、村づくり会議での話し合いの中で生まれた「はらぺこあおむし」は現在でも続いていますので、「やりたい」という保護者の方はいると思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

○高野村長

数が少なくなってきたというのは大きな原因だと思います。PTAの活動の中でもビン集めを止めてしまいましたし、会報等についても「大変だ」という話は聞きます。子どものため、学校のため、そして地域のためという思いが出てきてくれれば思いますが、なかなか難しいと思います。その他にご意見等よろしいでしょうか。

(なし)

○高野村長

よろしいでしょうか。それでは、その他に移ります。

5 その他

○飯森教育長

こちらでは、特に用意してございません。

○高野村長

それでは、以上で終わりたいと思いますが、閉会を教育長お願いします。

6 閉会

○飯森教育長

長時間にわたりご協議いただきましてありがとうございました。先ほどいただいたご意見を集約して、皆さんにお配りしたいと思いますので、よろしく願いいたします。4月9日に定例教育委員会が予定されておりますので、その時にあらためてご意見をお聞きして決めていきたいと思います。以上で、麻績村総合教育会議を閉じさせていただきます。

(会議閉会 午前 11 時 30 分)